



春高・春中ゴルフのポスター。イメージキャラクターには、かわさき健原作・古沢優作画の漫画「オーイ! とんぼ」に登場する天才ゴルフ少女の大井とんぼが起用されました。

井上理事長(以下、敬称略) 令和3年3月、全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会(以下、春高・春中ゴルフ)を三木市で開催することになりました。日程は、3月22日に三木市文化会館で開会式を行い、23日に公式練習、24、26日に競技という流れとなっています。競技会場は、高校男子をオリムピックゴルフ倶楽部、高校女子をチェリーヒルズゴルフクラブ、

中学男女を三木ゴルフ倶楽部で開催します。競技は個人戦で、高校は男女各144名、中学は男子80名・女子60名の計428名の出場を見込んでおり、10月から全国各地で予選が始まっています。また、今年度は夏の大会が新型コロナウイルスの影響を受けて中止となったため、出場できなかった中学3年生についても、本大会に出場できるようにしました。

**春高・春中ゴルフ
ゴルフのまち三木で開催決定!**
大会概要についてお聞かせください。

中学男女を三木ゴルフ倶楽部で開催します。



日本高等学校・中学校ゴルフ連盟 理事長 井上尚彦

三木市長 仲田一彦

**春高・春中ゴルフ 開催記念対談
ゴルフの聖地化をめざして**

問 (市)ゴルフのまち推進課

今年4月に市内開催が決定した「全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会」。地域資源を活かした「ゴルフのまち三木」の推進に注力する、三木市の仲田一彦市長と日本高等学校・中学校ゴルフ連盟の井上尚彦理事長が大会に向けての意気込みを語り合いました。

大会情報

春高・春中ゴルフ

第41回 全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会

2021年 **3月24日(水)~26日(金)**



オリムピックゴルフ倶楽部 (高校男子)



チェリーヒルズゴルフクラブ (高校女子)



三木ゴルフ倶楽部 (中学男女)

仲田 三木市は全国で2番目(西日本一)にゴルフ場が多いという特徴があります。また、雇用をはじめとする地域経済やゴルフ場利用税など、ゴルフとの関わりが非常に強い地域です。
私は三木市長になる前、県議会議員をしていました。その当時に井上理事長と出会い、春高・春中ゴルフのお話を聞き、ぜひこの全国大会を三木市に誘致できないかと考えていました。
井上 今までの大会は開催地が3年周期で変更していましたが、開催地を固定し、恒久的に開催して

三木市で開催となった経緯は。
仲田 三木市は全国で2番目(西日本一)にゴルフ場が多いという特徴があります。また、雇用をはじめとする地域経済やゴルフ場利用税など、ゴルフとの関わりが非常に強い地域です。
私は三木市長になる前、県議会議員をしていました。その当時に井上理事長と出会い、春高・春中ゴルフのお話を聞き、ぜひこの全国大会を三木市に誘致できないかと考えていました。
井上 今までの大会は開催地が3年周期で変更していましたが、開催地を固定し、恒久的に開催して



いくことで、その地をゴルフ界の聖地にしたいと考えていました。現在、栃木県のサンヒルズカントリークラブで夏の大会の聖地化をめざして取り組んでいます。春の大会についても聖地化したいの思いがありました。仲田市長から声をかけていただいたときに、ゴルフに対する共通の思いがあると感じましたので、ぜひタッグを組みたいと思いました。
仲田 「ゴルフのまち三木」の一層のブランド化のため、今年4月に本大会の誘致を一つの目標にしたゴルフのまち推進課を新たに設置しました。その年に誘致が叶ったことは、本当に嬉しく思います。
井上 当連盟にとって、大会の開催に自治体と連携するのは三木市が初めてとなります。ほかの競技でもここまで自治体関わっている大会はないと思います。
充実したゴルフ場とさまざまな取組から生まれたゴルフのまちとともに、大会をさらに盛り上げていきたいと考えています。



ゴルフを通して 青少年の豊かな人間性を育てたい

ゴルフ振興について課題と感じる点がありますか。

仲田 自治体では、特産品などのPRに力をつけるものの自己満足で終わってしまうことが多いです。三木市もゴルフ場数が西日本一多く、専門の部署も作ってPRを行っています。まだまだ足りないと感じます。春高・春中ゴルフの開催により、今後多くの

経済効果が見込まれます。その中で、全国の方から「ゴルフのまち」と言えば「三木」と連想してもらいたい

めには、継続して大会を開催していくことと子どもたちが憧れ、自分も出場したいと思える大会にすることが大切だと思います。

井上 この大会には教育の一面もあります。ただスコアが良ければいいのではなく、大会に向けてど

放送部の学生に大会のスタートコール(競技開始時の選手紹介)を担当してもらうなど、自分たちの

「春は三木市へ」 ゴルフの聖地化をめざして

大会を通しての目標は。

仲田 大会を三木市で恒久的に開催することで、「ゴルフのまち三木」を全国に広めていきます。将来的には、今回誘致した中学・高校の全国大会に加えて小学校の全国大会も誘致したいと考えていま

得意分野を活かしながら、大会に関わり、ゴルフを知ってもらいたいと考えています。

す。また、市内の中学校、高校へのゴルフ部創設などにも取り組み、学生がゴルフに親しみやすい環境を創りたいです。

井上 ゴルフ界を賑やかにしているのはプロ選手。日本のスポーツ界において、プロがここまでPRに

◀吉川小学校の4年生12名が参加したゴルフ体験。アイアンでのショットやグリーンでのパターに挑戦しました。(10月6日)



れだけ努力をしたのか、ルールやマナーは守れているかなどをしっかりと見ていくのは大人の役割です。出場選手を見た子どもたちが自分もやってみたいと思える大会になるよう、三木市と協力しながら、良い雰囲気を作っていきたいです。

仲田 雰囲気づくりの面で、三木市では、子どもたちにゴルフに慣れ親しんでもらうため、平成28年から三木市ゴルフ協会がゴルフ体験事業を行っています。さらに、スナッグゴルフの道具を各小学校

貢献している競技はありません。

この大会の出場選手からも、多くのプロが誕生し、世界で活躍しています。しかし、大会の盛り上がりは高校野球やバレーボールの全国大会ほどにはなっておらず、まだまだ伸びしろがあると思います。もっと若い世代の全国大会に光が当たるよう、三木市とタッグを組んで、盛り上げていきます。

日本では、スポーツ人口が少子化の影響で減ってきています。今年には新型コロナウイルスの影響でスポーツ人口はさらに減少が見込

▶初心者向け競技「スナッグゴルフ」の体験会には志染小学校5年生の8名が参加。マナーや道具の握り方、振り方などを学びました。(10月2日)



に留意し、授業にも取り入れてもらっているほか、商工会議所の青年部が親子スナッグゴルフの大会を開催するなど、市全体でみんながゴルフを楽しめる環境を作っています。

今回の大会に三木市の学生は 関わりますか。

仲田 市内の高校に通う学生には、ボランティア活動を通して大会に関わってもらいたいと考えています。関わり方の一例としては、

まれますが、実は、ゴルフ人口においては、このコロナ禍においても、増加傾向にあります。生涯スポーツとしてゴルフが見直されてきているのだと思います。

仲田 「春は三木市へ」が全国のジュニアゴルファーの合言葉になるよう、連盟と協力しながらいい大会にしたいです。また、選手やコーチ、保護者の方々にも「ゴルフをしてきて良かった」、「三木市に来て良かった」という思いが募っていくような大会を連盟と一緒に創っていきます。

